

6. 教育・普及事業

■イベント・講演会■

<キッズ TARO のギャラリートーク>

- 期 間 2008 年 8 月 3 日（日）、8 月 24 日（日）
 内 容 小学校 3 年生～6 年生の「キッズ TARO」が岡本太郎作品
 についてギャラリートークを行う。
 場 所 川崎市岡本太郎美術館 常設展示室
 料 金 無料
 人 数 8 月 3 日（日）児童 5 名、一般観覧者 約 20 名
 8 月 24 日（日）児童 4 名、一般観覧者 約 30 名



<夏休み・美術館探検ツアー>

- 期 間 2008 年 8 月 10 日（日）、8 月 17 日（日）
 内 容 中学生～高校生を対象に、展示室や一般には公開されて
 いないバックヤードなど、作品を保存するための施設や
 設備の見学。美術館の裏側を探検する。
 場 所 川崎市岡本太郎美術館 展示室、バックヤード等
 料 金 無料
 人 数 8 月 10 日（日）生徒 11 名、8 月 17 日（日）生徒 17 名



■団体受け入れ■

当館では 20 人以上の団体で美術館を利用される場合、無料で岡本太郎映像の視聴や簡単なレクチャーを行っています。

また、学校や教育機関による団体での鑑賞学習や美術館を利用したグループ学習については、利用する学校と美術館が対象年齢や学習目的に応じて共同で先生と美術館が話し合いながらプログラムをつくる利用方法を行っています。

平成 20 年度 団体受け入れ実績

月	小・中学校		高校・大学		養護学校など		その他		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4	0	0	1	42	0	0	5	197	6	239
5	2	130	1	20	2	78	4	110	9	338
6	3	298	3	64	2	48	5	148	13	558
7	10	995	0	0	0	0	5	154	15	1149
8	0	0	1	9	0	0	5	180	6	189
9	6	805	0	0	0	0	4	88	10	893
10	16	1559	3	47	1	26	6	222	26	1854
11	9	1034	2	186	0	0	12	656	23	1876
12	13	1281	2	80	0	0	4	144	19	1505
1	5	641	0	0	0	0	1	23	6	664
2	5	429	0	0	0	0	1	31	6	460
3	1	18	0	0	0	0	4	98	5	116
合計	70	7,190	13	448	5	152	56	2,051	144	9,841

■教育プログラム■

<職業体験プログラム>

内 容 美術館の運営について、体験を通して働く人間と接し、施設の目的や内容を広く学んでもらうための活動。学芸員の仕事、施設管理の仕事、ミュージアムショップの仕事、監視・受付の仕事の中から日程に合わせ選択し、各 2 時間程度体験。



<実施学校>

	学校名	学年	実施日	人数
1	川崎市立菅生中学校	2 学年	2008 年 6 月 12 日, 13 日 10:00~15:30	6 名
2	川崎市立犬蔵中学校	2 学年	7 月 11 日 10:00~15:30	3 名
3	川崎市立登戸小学校	6 学年	8 月 29 日 13:00~15:00	5 名
4	新名学園旭丘高等学校	1 学年	10 月 3 日 10:00~15:00	5 名
5	川崎市立平中学校	1 学年	11 月 19 日 10:30~11:30	4 名
6	川崎市立向丘中学校	2 学年	12 月 11 日 10:00~15:00	6 名
7	川崎市立南菅中学校	2 学年	2009 年 1 月 29 日, 30 日 10:00~15:30	4 名
8	川崎市立稲田中学校	2 学年	2 月 6 日, 7 日 10:00~15:30	6 名
9	川崎市立生田中学校	2 学年	2 月 10 日 10:00~15:30	6 名

<美術館探検ツアー>

内 容 美術館職員の引率で、展示室や一般には公開されていないバックヤードなど、作品を保存するための施設や設備の見学を通して美術館の仕事と職業に対する認識を広げます。

<実施学校>

	学校名	担当	実施日	人数
1	小田原市立旭丘高校	仲野	2008 年 10 月 3 日 10:00~15:30	5 名

<高校の利用>

	大学名	実施日	人数	担当	内容
1	大原高等学院	2008 年 6 月 27 日	13 名	佐藤 (悠)	展覧会の解説
2	横浜市立桜ヶ丘高校	8 月 27 日	9 名	佐々木	岡本太郎美術館の運営について 展覧会の解説

3	和光高校	10月3日	20名	杉田	展覧会の解説
4	湘南文理高等学院	10月9日	26名	片岡	展覧会の解説
5	川崎市立総合科学高校	11月14日	41名	片岡	展覧会の解説
6	星槎国際高校	11月19日	140名	大高・久保 佐藤(悠)	展覧会の解説
7	川崎市立川崎高校	12月19日	23名	杉田	展覧会の解説

<大学・専門学校の利用>

	大学名	実施日	人数	担当	内容
1	専修大学経済学部	2008年 5月20日	24名	杉田	岡本太郎美術館の運営について 展覧会の解説
2	日本大学通信教育部	6月6日	20名	片岡	博物館見学実習 (学芸員の仕事について) 岡本太郎美術館の運営について
3	早稲田大学人間科学部	6月13日	24名	佐々木	岡本太郎美術館の運営について 展覧会の解説
4	玉川大学博物館実習	8月1日	17名	仲野	博物館見学実習 (学芸員の仕事について) 岡本太郎美術館の運営について
5	専修大学	11月20日	21名	大高	展覧会の解説
6	文教大学	12月20日	47名	仲野	ミュージアムと視聴覚メディア 「岡本太郎美術館をプロデュースする—大学生の視点から—」

■館外普及活動■

<出張授業・講演など>

	団体名・場所	実施日	人数	担当	内容
1	川崎市立生田小学校	2008年 7月24日	20名	佐藤(悠)	太郎ワールド 鑑賞と制作
2	川崎市立今井小学校	9月30日	133名	大高・岩崎	美術館における鑑賞教育について
3	川崎市立下作延小学校	11月26日	40名	佐藤(悠)	美術館における鑑賞教育について 研究授業
4	川崎市立登戸小学校	2009年 1月16日	30名	大高	太郎さんに挑戦 鑑賞と制作
5	川崎市立登戸小学校	1月21日	30名	大高	太郎さんに挑戦 鑑賞と制作

<岡本太郎美術館スタンプラリー>

期 間 2004 年 3 月 13 日より開始

認定者数 176 名 [2009 年 3 月 31 日現在]

内 容 市内や都内近郊にある岡本太郎作品を所蔵する施設の作品や情報を掲載。各施設のスタンプをすべて集めることにより、美術館からスタンプラリー認定証と、川崎市岡本太郎美術館、岡本太郎記念館の招待券（各 2 枚）を贈る。（平成 19 年度より、スタンプ設置箇所を変更）

<作品・スタンプの設置場所>

- ・川崎市岡本太郎美術館
- ・岡本太郎記念館
- ・等々力アリーナ
- ・川崎市市民ミュージアム
- ・大山街道ふるさと館（スタンプのみ設置）

<作品のみ設置場所>

- ・入江崎スラッジセンター
- ・二子神社境内 岡本かの子文学碑
- ・川崎市立藤崎小学校
- ・川崎市役所第三庁舎 1 階ロビー
- ・高津市民館
- ・神奈川県立向の岡工業高校
- ・川崎市多摩区役所



■教材開発と利用■

<ビデオ「岡本太郎の芸術」>

規 格 「岡本太郎芸術を語る」(VHS 29 分 50 秒)の短縮版・再編集 18 分

用 途 学校、教育施設に貸与し、岡本太郎芸術の普及教材として使用する。



ビデオ

<岡本太郎作品 大判プリント・カード>



ラミネート加工
42.5×30.0(cm)



フレーム入り
42.5×30.5(cm)

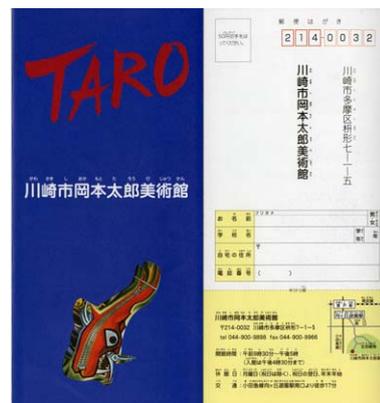


カード
12×18(cm)

<子ども用パンフレット>

小中学生向けに岡本太郎の作品を年代順に紹介し、岡本一平・かの子について、川崎市内に設置されている太郎作品、美術館の案内図などを掲載している。裏面は切り取って使用できるはがきになっており、子どもたちが感想などを自由に書いて美術館へ送ることができる。

(はがきは美術館ギャラリーにて閲覧可能)



H20 年度 子どもからのはがき

(はがきは美術館ギャラリーにて閲覧可能)

小学校	12 校(1014 通)
中学校	—
個人 (幼児・児童・生徒)	23 通

■美術館教育研究会■

第 1 回

会 期 2008 年 8 月 21 日(木) 午後 2:00~4:00

場 所 岡本太郎美術館 創作アトリエ

議 題 ① 20 年度普及事業 報告

美術館の利用状況/夏休みイベント、職業体験/スタンプラリー/普及教材

② 20 年度展覧会事業 報告

芸術風土記展/第 11 回 TARO 賞展/立体展/太郎が見た韓国展/TARO 賞の作家 I 展

③ 新指導要領について

④ 六月会で安田先生が行った授業について

⑤ 学習活動の報告

連合文化祭/登戸小の授業計画

⑥ 教材開発について

出 席 者 小中学校: 佐藤利行 (教育センター/カリキュラムセンター)、十鳥良二、尾崎美幸、中臣信丈、秋山英樹、江野緑朗

(欠席者: 紺野清美、東川美英子、安田 薫、伊藤慶三)

美 術 館: 西澤哲史、片岡 香、大高 修 (記録)、佐藤悠子、岩崎由紀子

第 2 回

会 期 2009 年 3 月 27 日(金) 午後 2:00~4:00

場 所 岡本太郎美術館 創作アトリエ

議 題 ① 20 年度普及事業 報告

美術館の利用状況/夏休みイベント、職業体験/スタンプラリー/普及教材

② 20 年度展覧会事業 報告

立体展/太郎が見た韓国展/TARO 賞の作家 I 展/第 12 回 TARO 賞展

③ 多摩市民館共同開催 青年教室「アート体験」について

④ 鑑賞授業のヒント集について

⑤ 学習活動の報告

下作延小（6年）仮面作り／登戸小（4年）「太郎さんに挑戦」／宿河原小（2年）カッターで作る魚／職場体験／連合文化祭

⑥ 教材開発について

出席者 小中学校：佐藤利行（教育センター カリキュラムセンター）、紺野清美（下作延小）、尾崎美幸（宿河原小）、秋山英樹（登戸小）、小枝直人（柿生小）、江野緑朗（稲田中）、安田 薫（生田中）、東川美英子（枅形中）
美術館：西澤哲史、片岡 香、大高 修、佐藤悠子、岩崎由紀子、久保麻紀子（記録）